

あなたも認知症サポーターになってみませんか？

認知症サポーターとは
高齢者人口の増加による認知症対策として厚生労働省が2005年に始めた制度です。

認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者
となることを目的としています。

認知症サポーターに期待されること

1. 認知症に対して正しく理解し、偏見を持たない。
2. 認知症の人や家族に対して温かい目で見守る
3. 近隣の認知症の人や家族に対して、自分なりにできる簡単なことから実践する
4. 地域でできることを探し、相互扶助・協力・連携、ネットワークをつくる。
5. まちづくりを担う地域のリーダーとして活躍する。

【認知症サポーター養成講座】を受けると【認知症サポーター】に認定されます。
その証として、『**オレンジリング(プレスレット)**』が付与されます。
当院でもオレンジリングを身に着けた職員がたくさんいます♪



- ★認知症サポーター講座：約60～90分目安 受講料無料
- ★受講希望の方：在住・在勤・在学の自治体事務局、または都道府県及び市町村の認知症対策窓口や高齢者支援を担当する課にお問い合わせください。

主な講座内容

- ① 認知症とはどのようなものか
- ② 認知症の症状について(中核症状と周辺症状)
- ③ 認知症の診断や治療について
- ④ 認知症予防について
- ⑤ 認知症の方に接するときの心構えと介護者の気持ちの理解について
- ⑥ 認知症サポーターにできることは？

令和2年までに認知症サポーターを1200万人誕生させるという目標があげられています。
令和元年6月末現在、約1160万人の方が認知症サポーターとして認定されました。
認知症になっても、安心して自分らしく生活できる社会をみんなで作っていきけるといいですね。